

1. 略歴

- 1994年3月 東京大学文学部国史学専修課程卒業
1996年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻修士課程修了
1999年12月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士課程単位修得の上退学
2000年1月 日本学術振興会特別研究員 (PD)
2003年3月 博士 (文学) (東京大学) (博人社 390号)
2004年4月 宇都宮大学教育学部助教授 (社会科教育講座)
2007年4月 宇都宮大学教育学部准教授 (同)
2011年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本近世史

b 研究課題

近世史を専攻し、これまで信州・近江・関東等の村落構造や土地制度を中心に、商人や流通・交通・金融、かわた等の身分とその集団などを検討してきたほか、中世から近世にかけての社会の変容を、土地・身分政策に即して論じてきた。今後はそれらをふまえて、幕府や江戸、藩や城下町についても少しずつ研究を進めたいと考えている。

c 主要業績

(1) 論文

- 牧原成征、「商人と流通の近世」、『論集きんせい』、34、2-12頁、2012.5
牧原成征、「かわた村と地域社会—武州下和名と下吉見領」、『東京大学日本史学研究室紀要別冊 吉田伸之先生退職記念 近世社会史論叢』、129-144頁、2013.4
高埜利彦・牧原成征ほか、「2012年の歴史学界—回顧と展望—日本 近世」、『史学雑誌』、122-5、109-111頁、2013.5
牧原成征、「安良城盛昭『幕藩体制社会の成立と構造』」、『日本史研究』、616、31-42頁、2013.12
牧原成征、「兵農分離と石高制」、藤井譲治ほか編『岩波講座日本歴史第10巻近世1』、岩波書店、2014.1

(2) 書評

- 牧原成征、「白川部達夫著『近世質地請戻し慣行の研究』」、『社会経済史学』、79-1、119-121頁、2013.5
牧原成征、「池上裕子著『日本中近世移行期論』」、『歴史評論』、766、87-91頁、2014.2

(3) 学会発表

- 牧原成征、「日本の近世化をめぐる—小農社会論の受け止め方を中心に」、歴史学研究会日本近世史・ヨーロッパ中近世史部会合同シンポジウム「近世化」論と日本—「東アジア」の捉え方をめぐる—、東京大学駒場キャンパス、2013.1.12

(4) 啓蒙

- 牧原成征、「検地・刀狩」、『週刊 新発見! 日本の歴史』、4、朝日新聞出版、2013.7

(5) 会議主催(チェア他)

- 国内、「史学会大会」、チェア・実行委員、日本近世史部会、東京大学文学部、2012.11.10~2012.11.11
国内、「史学会大会」、チェア・実行委員、日本近世史部会、東京大学文学部、2013.11.9~2013.11.10

(6) 共同研究・受託研究

- 科学研究費補助金「若手研究 (B)」 「中世・近世移行期、北関東における地域社会構造の研究」 研究代表者、2009~2012年度
科学研究費補助金「基盤研究 (C)」 「近世遊廓の構造とその社会的基盤」 (研究代表者・横山百合子) 研究分担者、2013年度~

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- 非常勤講師、慶応大学文学部、「日本史特殊」、2013.4~2014.3

(2) 学会

国内、史学会、史学雑誌編集委員、2012.4～2013.5

国内、歴史学研究会、委員、2012.4～2013.5